

そもそも 獣医師倫理とはなんだろう

私は獣医科大学に入学し、ガイダンスで先生にこのように言われた。

医師は病気になったときに世話になるが、獣医師は朝ご飯のハムや卵のような食品の衛生管理に責任を持っている。

つまり、獣医師は人の健康で安全な生活に毎日関わっている。

そのために必要なことを、獣医師は行わなければならない。心しておくようにと。

当時だけでなく今でも、鳥インフルエンザや豚熱、口蹄疫などで、多くの動物が獣医師の指示の下、処分されている。

獣医師は国家資格である。

政府が人間社会に貢献するように資格を与えているのではないか。

だから、獣医師の仕事として人間社会への貢献、具体的には人間の安全・健康な生活を維持することが最優先であろう。

動物愛護も獣医師の仕事の一つだが、人間の安全・健康に比べたら優先順位は下位ではないか。

ましてや、すべての動物の中で犬猫だけを特別扱いするなど、獣医師倫理にはないと私は思う。

獣医師は獣医の技術で社会に貢献する仕事である。

その社会とは人間社会であり、人間の健康・安全を守る仕事だと私は考えている。

獣医師は人間の安全・健康を守るためには、動物にとっては非情な決断もしなければならない。厳しい職業であると、私は信じている。

